

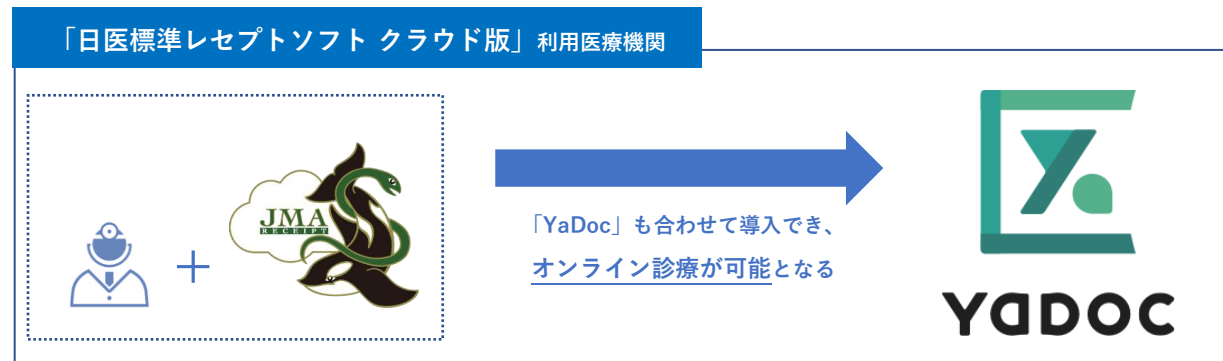
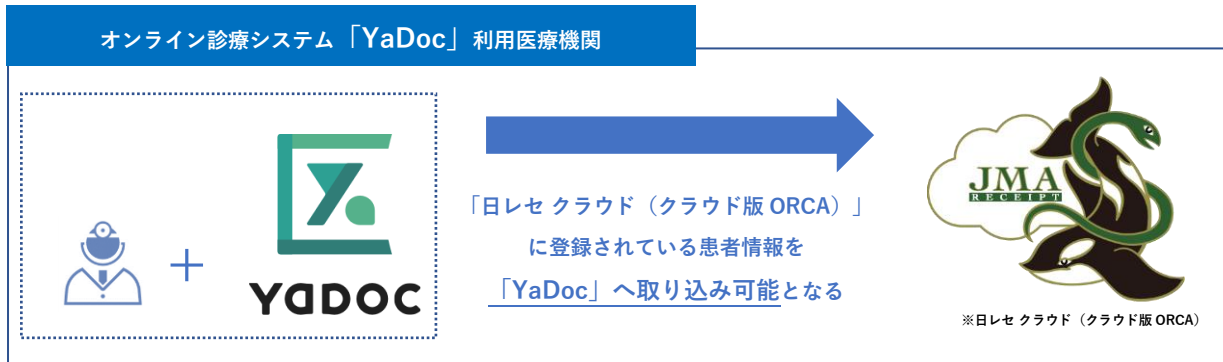
オンライン診療システム「YaDoc」、 「日医標準レセプトソフト クラウド版」と連携

2018年4月に保険適用となるオンライン診療の拡大を見据えて

インテグリティ・ヘルスケアと日本医師会 ORCA 管理機構が、医療機関の更なる ICT 化を目指し提携

株式会社インテグリティ・ヘルスケア（本社：東京都中央区、代表取締役会長：武藤 真祐、代表取締役社長：園田 愛、以下「インテグリティ・ヘルスケア」）は、インテグリティ・ヘルスケアが提供するオンライン診療システム「YaDoc（ヤードック）」と、日本医師会 ORCA 管理機構株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役会長：石川 広己、代表取締役社長：上野 智明、以下「日本医師会 ORCA 管理機構」）が提供する「日医標準レセプトソフト クラウド版」（通称、「日レセクラウド（クラウド版 ORCA）」）とシステム連携すると共に、医療機関への普及に向けた包括的な取り組みを開始することとなりましたので、お知らせ致します。

インテグリティ・ヘルスケアは、福岡市医師会および福岡市等と共にオンライン診療の臨床における実証事業を展開するなど、臨床現場においてシステムの改善を重ねながら、安心・安全で利便性の高いオンライン診療システム「YaDoc」を開発して参りました。また、この度連携する「日レセクラウド（クラウド版 ORCA）」を提供する日本医師会 ORCA 管理機構は、前身である日医総研にて推進してきた ORCA プロジェクトから 17 年にわたり、医療機関向けレセプトソフトを開発し、現在では、診療所を中心に全国約 17,000 の医療機関で利用されています。この度の提携により、医療機関におけるオンライン診療の適切な普及と、ICT 活用による医療の質的向上を目指します。



ICTを活用し、ビデオチャット等の利用で対面診療の補完をすることを目的とするオンライン診療は、2018年4月より保険適用となり、今後の普及が期待されています。この度のシステム連携で、新たに「日レセクラウド（クラウド版ORCA）」を導入する医療機関は、より簡易的な手続きで「YaDoc」を利用し、オンライン診療を臨床で活用できます。また、通常、手動で行う必要のある「YaDoc」の患者情報等登録に関しては、「日レセクラウド（クラウド版ORCA）」との連携により、リアルタイムかつ自動で患者情報等を「YaDoc」に取り込むことができるようになります。事務作業の大幅な効率化により利便性が向上することで、オンライン診療の普及を目指します。

高齢化が更に進む日本では、医療費・介護費の支出は50兆円を超え^{*1}、2025年には約80兆円に達する^{*2}と予想されています。インテグリティ・ヘルスケアは、対面診療を補完するオンライン診療システム「YaDoc」の全国普及を図り、地域医療を担うかかりつけ医のより良い医療の実現に貢献して参ります。

▼株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役社長 園田 愛のコメント

オンライン診療システム「YaDoc」は、対面診療と組み合わせて医療アクセシビリティを向上する他、これまで見えにくかった患者さんの症状や状態を把握し、よりきめ細かい治療を継続的に行うことに貢献します。私たちはこれから、我が国の新しい医療形態として保険収載されたオンライン診療の安全性や有用性を、地域医療現場と共に積み上げていきます。この度の日本医師会ORCA管理機構との提携により、医療の本懐を守りながら新しい医療のあり方を創造すること、そして持続可能な医療・社会システムを実現することを目指します。

▼日本医師会ORCA管理機構株式会社 代表取締役社長 上野 智明のコメント

ORCAプロジェクトは発足から17年が経過する中で、医師会員の皆様の支持を得て着実に普及して参りました。そして、高齢化に伴うこれからの地域医療介護においては、時代の潮流に合わせ、また新たな技術の進展により、更なるICT化が期待されています。そこでこの度、日本医師会ORCA管理機構は、ICTを活用した新しい医療形態として保険収載されたオンライン診療へいち早く対応するため、インテグリティ・ヘルスケア社のオンライン診療システム「YaDoc」と「日レセクラウド（クラウド版ORCA）」とをシームレスに連携することに致しました。これにより、これまで必ずしもICT化が進んでいなかった医師会員の皆様にも、安全で安心、そして利便性の高い医療介護ICT環境が提供できることを目指しています。

(参考資料)

※1：

「平成28年度医療費の動向」厚生労働省（平成29年9月15日発表）

「平成28年度介護給付費等実態調査の概況」厚生労働省（平成29年8月31日発表）

※2：

「医療保険制度改革について」厚生労働省（平成27年6月19日発表）

「介護保険制度を取り巻く状況」厚生労働省（平成26年4月28日発表）

補足資料 1：サービス概要

▼オンライン診療システム「YaDoc（ヤードック）」とは

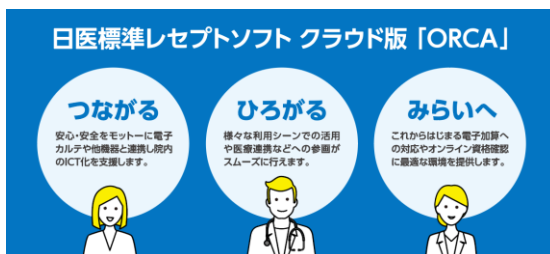


「モニタリング」「オンライン問診」「オンライン診察」の3つの機能で、通常の診療ではとらえにくかった情報を集積し、通院困難な患者の対面診療の補完や、かかりつけ医の機能強化・診療の質向上を図るオンライン診療システム。患者はスマートフォンやタブレットで自身の医療・健康情報等の記録、問診への回答、ビデオチャットによる診察を行うことが可能。



サービス名： オンライン診療システム「YaDoc（ヤードック）」
 提供開始日： 2018年1月
 U R L： <https://www.yadoc.jp/>

▼「日医標準レセプトソフトクラウド版」（通称「日レセクラウド（クラウド版ORCA）」）とは



2002年に公開し、約17,000の医療機関に導入されている「日医標準レセプトソフト」（通称「日レセ（ORCA）」）をクラウド化した製品。高い安全性の下、電子カルテなどの医療情報関連のICTシステムと連動することや、地域医療連携・多職種連携への参画が容易にできるのが特徴。



サービス名： 日医標準レセプトソフトクラウド版
 提供開始日： 2017年10月
 U R L： <https://www.orcamo.co.jp/products/orca/cloud.html>

補足資料 2：代表者・会社概要

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長 武藤 真祐



東大病院、三井記念病院にて循環器内科に従事後、宮内庁で待医を務める。その後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2010年医療法人社団鉄祐会を設立。2015年シンガポールでTetsuyu Healthcare Holdings Pte, Ltd. を設立。東京医科歯科大学医学部臨床教授。日本医療政策機構理事。東京大学医学部卒業（MD）。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了（Ph.D.）。INSEAD Executive MBA。

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役社長 園田 愛

医療経営コンサルティングに従事後、株式会社リクルート事業開発室にてヘルスケア関連事業に携わり、2009年株式会社インテグリティ・ヘルスケア設立。同時に医療法人社団鉄祐会の設立に参画。2011年より東日本大震災後の大規模復興事業を統括。2015年よりヘルステック事業を開始、2016年には同社の医療経営支援事業を独立させる形で株式会社 TETSUYU を設立、現在に至る。東京医科歯科大学大学院修了。MBA。MMA。

▼会社概要

社 名 : 株式会社インテグリティ・ヘルスケア
設 立 : 2009年10月
代 表 者 : 代表取締役会長 武藤 真祐、代表取締役社長 園田 愛
事 業 内 容 : テクノロジーを活用した医師の診療支援ソリューションの提供
所 在 地 : 東京オフィス 東京都中央区日本橋蛸殻町1-27-5 YAMATO B.L.D 1・2階
福岡オフィス 福岡市中央区天神2-11-1 福岡 PARCO 新館5階 The Company
名古屋オフィス 名古屋市中区栄2-2-23 アーク白川公園ビルディング7階
U R L : <https://www.integrity-healthcare.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 広報担当：松岡
TEL：03-6661-0858 Email：pr@integrity-healthcare.co.jp